



下島小だより 11月号

校長
林

恵一

一気に秋の気配となりました。木々も色づき始めています。一日の寒暖の差が大きくなり、体調を崩しやすい時でもありますので、健康管理には十分にお気をつけください。

さて、先月、高学年にとって最大級の行事であります5年生の林間学舎、6年生の修学旅行が無事終了しました。5・6年生の保護者の皆様方におかれましては、このコロナ禍の中での実施について、たくさんの心配や不安があったかと存じます。その上で、本校の宿泊学習の取り組みに対しましてご理解とご協力を賜り、そして子ども達を励まして送り出していただきましたこと、深く感謝申し上げます。おかげで子ども達は、日頃から積み重ねてきた力を現地で十分発揮するとともに、お互い協力する力も育み、一段と成長して帰って来ました。頼もしくなった5年生・6年生の子ども達の今後の活躍が楽しみです。ぜひ期待してください！

さて、2学期も後半となりました。子ども達は日常の学習に一生懸命取り組むとともに、20日に迫った運動会、12月2日のマラソン記録会など、大きな行事に向けても準備を進めています。こうした活動を通して、子ども達はさらに持っている力を伸ばしてくれると思います。教職員一同、子ども達に寄り添い、しっかり支援してまいります。保護者の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご協力を何卒お願いいたします。

5年生が林間学舎に行ってきました！

5年生が、10月13日(水)～14日(木)の日程で、兵庫県の「多可青雲の家」へ林間学舎に行きました。

現地に着いて開校式の後、早速林業体験へ。枝打ちや木を切り倒すところを見学し、倒した木を丸太にしてみんなで運んだり、チェーンソーを使って一人ずつ木を切る体験もしました。木の表皮をはがした後の木肌の美しさ、そして杉の木の良い香りに子ども達は魅了されていました。

夕食後のキャンプファイヤーでは、「燃えろよ燃えろ」をみんなて歌ったり、各クラスのスタンツ(ダンスやジェスチャーゲームなど)で大いに盛り上がりました。きれいな星空もとても感動的でした。



2日目朝は、あまごつかみと川遊びをしました。あまごつかみでは、「キャー！」と叫びながらも、みんな一生懸命にあまごを追いかけて捕まえました。採った魚を串に刺し(怖がる子もいましたが、助け合ってみんな上手に出来ました！)、炭火でじっくり焼いて食べたそのおいしさには、みんなもびっくり。頭の骨まで全部食べた子もたくさんいました。また、川遊びでは、川の水がやや冷たかったにも

関わらず、ほとんどの子ども達が川に入り、大自然を満喫していました。

その後のカレー作りでも、各班メンバーが協力し、助け合いながら、仲良く作業する姿がたくさん見られ、とても頼もしかったです。みんなで協力したカレーは格別でしたね！

この2日間は、5年生の頑張る姿・成長した姿が随所で見られ、とても感動しました。この調子で、今後もいろいろなところで、高学年として成長した姿を見せていってくれるでしょう。5年生のみなさん、これからも期待しています！



6年生の修学旅行については次号で紹介します

4年生が取り組みました！

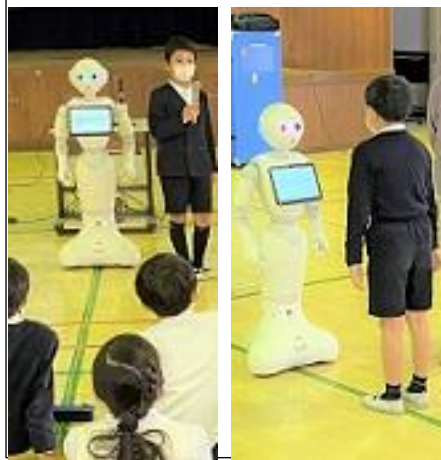
福祉学習がんばりました

「守口障害者生活支援事業所 みみ」の方を講師としてお招きし10月19日(火)に車いす体験学習を、そして26日(火)には点字の体験学習を行いました。車いす体験では実際に車いすを押してみることで、少しの段差でも乗り越えるのが大変であることを実感として体験することができました。また、点字学習では点字器を使って自分の名前を書く(打つ)体験や、視覚障害の方のお話を聞くことができました。この福祉学習を通して、子ども達は、障がいのある方や、その方を支える周りの人々の思いや願いを知り、自分たちにできることは何かを考えることができていました。



Pepperくんが来校！

10月22日(金)、「スマートフォン等のSNSの使い方について」をテーマとした出前授業に、Pepperくんが来校しました。Pepperくんが「下島小学校のみなさん、こんにちは！」と話した瞬間、子ども達は大喜び。その後、Pepperくんと一緒にSNSの使い方について学習しました。「SNSに顔や名前を気軽にのせてしまったら大人になっても残ってしまうかも」「家族に被害があるかも」など、SNSに潜む危険について理解し、上手に付き合っていくにはどうすればいいのか、一人ひとり真剣に考える姿が見られました。



学校運営協議会を実施しました

10月1日(金)、今年度第3回目の「八雲中学校区学校運営協議会」を実施しました。今回は、子どもが関わる地域行事をどう進めるか、地域が学校の教育活動をどう支援するのか、支援するための組織をどう作っていくのかなどについて熱心に話し合っていました。

学校運営協議会…保護者や地域住民の代表が、特別職の地方公務員の身分である学校運営協議会委員となり、これまでのような学校運営に係る「協力者」から一歩前進し、学校運営の「当事者」として、校長が作成する学校運営の基本方針や、学校と地域の在り方などについて協議し、承認や決定をしていく機関です。八雲中学校区では、地域や保護者様などから選出された20名の方が委員となり現在活動を行っています。

